

86 新カリキュラム移行に向けたシラバスの整備

学院 児童指導員科 関 剛規、林 克也

【はじめに】

学院児童指導員科は、平成 25 年度から平成 26 年度にかけて、外部有識者を含めてカリキュラムの検討を行い、知的障害を含めた発達障害に対応できる福祉専門職養成カリキュラム（以下、新カリキュラム）が完成した。平成 27 年度からスタートした新カリキュラム移行に向けたシラバスの整備について、これまでの経過を報告する。

【経 過】

- ・平成 25 年 4 月 児童指導員科カリキュラム見直しについての検討会の設置
- ・平成 26 年 11 月 児童指導員科カリキュラムの完成
- ・平成 26 年 11 月 シラバス書式の検討
- ・平成 27 年 3 月 シラバス書式完成、各講師への周知開始
- ・平成 27 年 4 月 新カリキュラム運用開始

【シラバスの構成】

- 1、一般目標と概要
- 2、授業計画
- 3、授業の達成目標
- 4、評価方法
- 5、テキスト・教材
- 6、参考文献
- 7、学生へのメッセージ

【ま と め】

シラバスは、講師と学生との約束事である。つまり、授業は何を、どのレベルを目標とし、どのような流れで進み、その評価方法は何かなど、シラバスの構成であげた項目の全てが連動する。そして、その進む方向は学科が目指す人材養成イメージであり、カリキュラム全体が無駄と重複と遺漏のない科目構成となるのが理想的である。

今年度は、新カリキュラム運用に伴うシラバスの整備を進めたが、各講師には学生がわかるように、平易且つ具体的に書くことや学生を主語とする表現で書くことをお願いした。例えば、「…を教える」「…を理解させる」ではなく、「…を学ぶ」「…を身につける」など。

今後とも、授業内容の充実を図る上でも、シラバスの質の向上を目指し、更に質の高い授業が展開できるよう、検証・改善していきたい。